

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和5年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷 戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B/A×100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		314	164	52.2%
	延べ利用者数（人）		24,524	15,792	64.4%
	事業開催 回数	必須事業（回）	60	49	81.7%
		自主事業（回）	55	49	89.1%
収支状況	収入	指定管理料（円）	26,500,000	13,250,000	50.0%
		利用料金収入(売上)（円）	9,453,000	6,285,000	66.5%
		自主事業収入（円）	11,595,000	8,658,306	74.7%
		その他の収入（円）	0	44,633	-%
	収入計（円）…①		47,548,000	28,237,939	59.4%
	支出	人件費（円）	28,500,198	15,017,406	52.7%
		維持管理経費（円）	12,413,871	6,702,125	54.0%
		自主事業関係経費（円）	人件費に含む		-%
		その他の支出（円）	3,873,021	3,088,893	79.8%
	支出計（円）…②		44,787,090	24,808,424	55.4%
	収支（①－②）（円）…③		2,760,910	3,429,515	124.2%
	諸経費（本社運営費など）…④		-	-	-%
	総収支（③－④）（円）		2,760,910	3,429,515	124.2%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：飲食等 164 日 宿泊 145 日 利用者数：12,501 人 (見学等利用者数：3,291 人) 延べ利用者数：15,792 人	【事業の実施状況について】 体験事業については、秋川流域 ジオ情報室と連携した新規プロ グラムを考案し、利用者の増加に努 めた。 飲食事業については、原材料費 高騰の影響から料金の見直しを行 いながらも、給食を模したメニュ ーなどを提供することで好評を得 た。 また、宿泊、研修事業について は、新型コロナに関する規制が緩 和される中で、団体活動が活発に なっていることを考慮し、受入定 員数をコロナ禍前に戻している。	【収支状況について】 (収入) 年間計画比で利用料金収入は、 66.5%、自主事業収入は 74.7% であった。 (支出) 原材料費高騰の影響もあり、増 加傾向である。
---	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 新型コロナの影響による臨時休館もなく、施設の運営が行えている。延べ利用者数 15,792 人は、上半期における過去最高を記録している。	【事業の実施状況について】 各事業において年間計画に基づき順調に実施されている。体験事業では新たなプログラムを考案するなど、利用者のサービス向上に努めている。	【収支状況について】 原料価格の高騰により支出は増加しているが、利用客数が増加したことにより、利用料金収入及び自主事業収入も増加していることから、上半期の収入において、計画比 59.4%に達した。
---	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）			確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13-15 人	人員配置計画、実地、出勤簿	14 人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2 回/年	研修マニュアル	実施回数 2 回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	92.8%	人員配置計画	92.8% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
--------	---	----------	--------	--------

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
徹底した新型コロナ等の感染拡大防止対策を講じながら営業を行った。そのような中、総利用者数は15,792人とコロナ禍前の令和元年度における延べ利用者数15,491人より増加した。 〈各事業について〉 ①宿泊事業：新型コロナに関する規制が緩和された影響もあり、団体利用者のキャンセルが減り、年間計画に沿った事業運営を行うことができた。また、例年に比べて幼児団体の利用が多くあった。 ②体験事業：地域の有志が主催した展示イベントが数か月間にわたって開催され、地域新聞や雑誌で宣伝されたことで施設の周知を行うことができた。 ③飲食事業：施設概要が地域新聞や雑誌に掲載されたことで、施設の認知度が上がり、レストラン「食堂」の利用も増加した。
所管課による所見（指摘事項など）
新型コロナに関する規制が緩和された影響から、団体による利用も増加し、上半期における過去最高の延べ利用者数を達成することができた。また、収支についても年間計画比124.2%と好調であることは、指定管理者の努力によるものであると考える。下半期も引き続き、利用者への更なるサービス向上を図り、健全な事業運営に努めてもらいたい。